



母の日

～5月の第2日曜だけではない～

校長 澤田 純一

皆さんの趣味は何ですか。私は、数ある趣味のうちでも特に春先にバイクを走らせることが好きです。既にさいたま市では桜は散ってしまいましたが、東北自動車道を走っていると、桜前線が少しずつ北に移動していることが分かります。そして、太陽の光を浴びた葉の鮮やかさ。自然の緑に驚嘆させられます。もちろん、高速道路をバイクで走るのですから、意識を安全運転に集中させなくてはなりません。よって、視界に入る景色は断片的です。そして、脳裏に浮かぶ考えも、とぎれとぎれとなります。しかし、バイクを走らせながら、様々なことを考えることが好きなのです。

にわかに、子どもの頃に母に背負われたことを思い出しました。私は4歳の頃、小児喘息を患っていました。当時、川越市には専門医がおらず、毎週土曜日には東京の中野まで片道1時間半をかけ治療に行くのです。元気な時は母と旅行気分です。電車に乗り、食事をしながら帰ってくるのが楽しくもありました。しかし、ある日、通院中に発作が出てしまい、苦しくて駅の階段を上ることができません。池袋駅、新宿駅、中野駅の階段を母に背負われ病院まで行ったことを覚えています。「きっと重かったろうな。そう言えば、体力がつくように剣道を習わされたっけ。」と心の中でつぶやきます。

35年前に父が他界し、姉は結婚し、母一人 子一人で過ごしたことや、仕事を辞めて悲しませたこと、私が結婚した時の嬉しそうな顔など、ヘルメット越しに視界に入っては消えていく景色のように、様々な思い出が走馬灯のごとく流れていきました。

現在、母は91歳です。最近、自力で歩くことが困難になりました。加えて視力や聴力も落ちてきました。母はいつまで桜を見ることが出来るか分かりませんが、私は、子としての決心があります。それは心の中は、いつも「母の日」であることです。そして、次は私が母を背負う番です。

皆さんも、家族や自分に関わってくれた人を思い出してみましょ。きっと思い出とともに、感謝の念がわいてくると思います。今日の話はこれでおしまい。素敵なGWをお過ごしください。また、連休明けにお会いしましょう。



